

報告事項カ

第2回及び第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について

第2回及び第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年4月27日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

## 第2回及び第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会の概要について

平成28年4月27日  
博 物 館

美術館整備に係る基本構想案について審議するため、市町村から推薦された建設候補地について立地条件適合性を評価する第2回及び第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会を開催しましたので、その概要について下記のとおり報告します。

### 1 第2回及び第3回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会

- (1) 日 時 第2回：平成28年4月12日（火）午後1時30分から午後4時まで  
第3回：平成28年4月18日（月）午後1時30分から午後4時まで
- (2) 場 所 鳥取県立図書館 大研修室
- (3) 議 題 候補地の評価について
- (4) 主な議論

#### ○鳥取市役所跡地

- ・交通アクセス、周辺施設との連携は可能性があるが、駐車場の確保が課題。
- ・敷地が狭い。障がい者等がゆったりとアプローチできるか疑問。
- ・土壌からヒ素が検出されており、膨大な処分費用が必要。
- ・建設可能となるのが平成33年以降なのは問題。

#### ○わらべ館駐車場と西町緑地

- ・環境のいい住宅地に、敷地が狭いが故に高層となる美術館を建設するのは問題
- ・西町緑地は子ども達の憩いの場となっている。それを美術館が奪うは良くない。
- ・駐車場が不足し、却ってわらべ館の魅力を削ぐことにならないか。

#### ○鳥取市武道館敷地

- ・県立博物館と近く、機能連携はしやすい。
- ・交通アクセスはいいが、駐車場の確保が課題となる。
- ・県庁北側緑地は県との調整が不十分で、活用できるか不透明。

#### ○湖山池公園・湖山池オアシスパーク

- ・周辺は住宅地であり、美術館を建てる場所としては不適切。
- ・他の施設との連携は難しい。

#### ○鳥取砂丘西側一帯

- ・「砂丘」の知名度、景観はすばらしく、アイデア次第でどこにもないような美術館となる可能性がある。
- ・砂丘で観光施設を目指すよりも、学芸員の企画力で人を呼ぶ美術館を目指すべき。
- ・自然公園法の規制で分棟化せざるを得ず、建設費の増加、運営への悪影響を懸念。
- ・塩害の対策が必要であり、費用がかさむ可能性がある。

#### ○倉吉市営ラグビー場

- ・県の中央にあり、東部・西部からも訪れ易い上、倉吉駅からのバス便が多く、アクセスは良好。

- ・ラグビー場の移転を利用者は了承しているか、代替地の確保は確実か確認が必要。
- ・倉吉未来中心に隣接するが、利用者層が美術館と一致するか確認が必要。
- ・広さはまとまっており、あらゆる準備できることから一番適当。

#### ○三朝町ふるさと健康むら

- ・倉吉駅から遠く、アクセスが悪い。
- ・対岸に駐車場はあるが、河川敷の駐車場は洪水時が問題。背後の急傾斜地も心配。
- ・近くに子ども園や老人施設があり、美術館利用者の車の輻輳が心配。

#### ○羽合野球場

- ・バス便が1日3～4便しかなく、アクセスが悪い。
- ・周辺に観光施設がなく、施設連携が図れない。
- ・地盤沈下、急傾斜、塩害が懸念される。

#### ○長和田地内候補地

- ・アクセス面、周辺施設面等については、羽合野球場と同様。
- ・用地が民間で、かつ地権者が7名であることを懸念。
- ・眺望はいいが、高齢者施設とも隣接していて難しい面もある。

#### ○旧旅館団地

- ・アクセス面、周辺施設面等については、羽合野球場と同様。
- ・敷地が道路・水路で3つに別れているため、それらを付け替えて一体的な利用が可能かどうか確認が必要。

#### ○旧鳥取県運転免許試験場跡地

- ・駅から徒歩8分で、タクシーもあるためアクセスはまあまあ。
- ・コナンを見に来るのはマニアが多く、美術館の客層と違いがある。
- ・官民一体で地域づくりに取り組む機運があり、街づくりに貢献する見地から良い所。
- ・周辺に集客施設や教育施設はないが、町が今後飲食店舗を作るということであり、経済効果も多少は期待できる。

#### ○伯耆町すこやか村（伯耆町立植田正治写真美術館隣）

- ・公共交通機関がなく、マイカーでしかアクセスできないのは問題。
- ・周辺に連携可能な施設がない。植田正治写真美術館も冬季は休館してしまう。

#### ○鳥取市桂見

- ・今から整備となると大規模な造成工事が必要。
- ・アクセスが悪く、山中に作る必要性に疑問を感じる。
- ・良い条件が何もなく、候補とすべきでない。

#### ○その他の意見

- ・美術館の在り方についてよく議論してから、立地場所を決めるべき。  
⇒（事務局）3月末の検討委員会で事業計画等の検討も始めた。今後、住民説明会等で中身についても議論してもらった上で、県民の意見を踏まえて検討委員会の議論も進めていく。

- ・県民が気軽に訪れる美術館にしたいということだが、そもそも西部から見ると鳥取は遠い。交通アクセスを言うなら中部ということになるのではないか。  
⇒(事務局)中部とか東部ということではなく、個々の候補地について、県民が来やすいとか、観光客が来やすいということで評価してほしい。
- ・最終的に1～3程度の候補地に絞るというが、絞るほど拘束が大きくなるので、絞り込み過ぎない方がよい。ここはダメという所を削る程度に止めてはどうか。  
⇒立地場所の絞り込みは検討委員会でも検討する予定で、専門委員にはその前提となる(絞り込みの参考となる)評価(順位付けなど)をお願いしている。  
検討委員会では県民に美術館整備推進の是非を判断してもらう材料となる構想を取りまとめることとしており、立地場所はその重要な要素の1つ。従って、無理して1つに絞り込めるようにとは言わないが、多すぎると県民が判断できなくなるので困る。  
できれば1から3カ所程度まででお願いしたい。(事務局)

## 2 今後の対応

現時点での専門委員の評価については、推薦した市町村にも評価ポイントの見落としや誤解に基づく評価等がないか照会することとし、その回答や12日及び18日の審議結果を踏まえ、各委員が必要なら評価を修正し、その結果を整理して、5月下旬以降に開催する4回目の専門委員会で改めて審議して、委員会としての評価を行うこととなった。